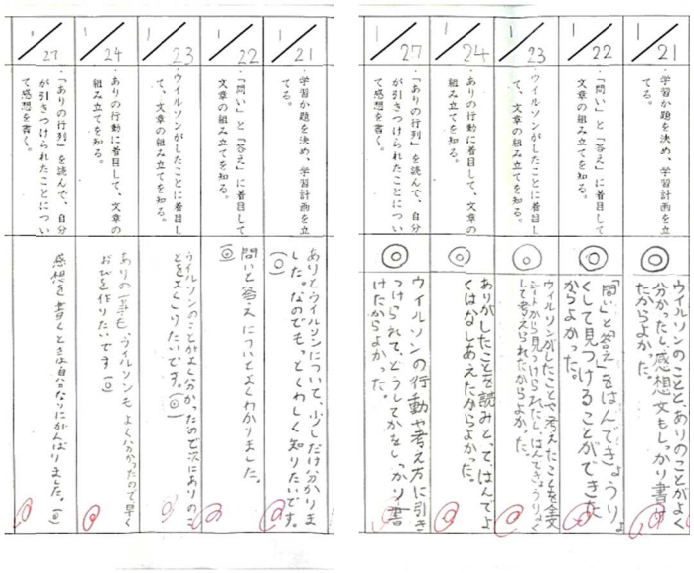
八小学習便り

八幡小学校
２０２０年２月３日

☆学習の振り返り☆

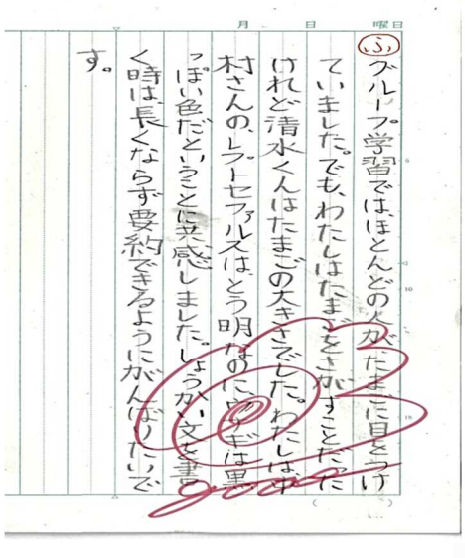
毎時間、学習の振り返りを行っています。今日学習したことや授業で身に付けたこと、疑問に思ったこと、これから学んでいきたいこと、正直わからなかったこと等、自分自身で振り返りを言葉にすることにより、学習内容の理解につながります。また、教える側の私たちも子どもたちの学習理解を確認することができます。来年度も「振り返り」を大切にしていこうと考えています。子どもたちのノートを一度見ていただいて、どんなことを書いているのかを確認していただけるとありがたいです。

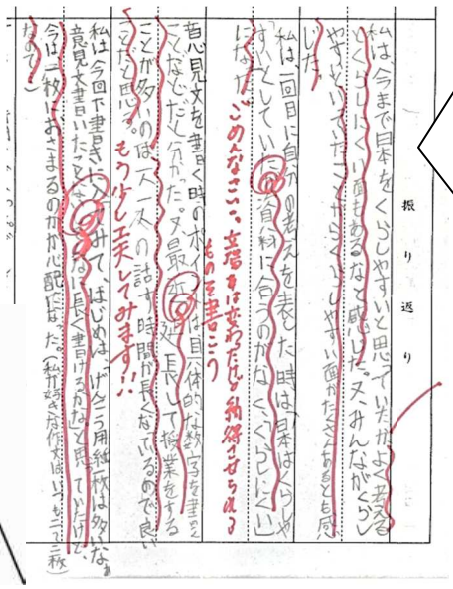
3年生の振り返り



5年生の振り返り

4年生の振り返り





こばと

３学期に入ると、どの教科も１年のまとめに入ります。そして、「作品展」も間近に控えています。こばと学級では、交流学級のお友だちとともに版画に取り組んでいます。初めて手にする彫刻刀に悪戦苦闘する子がいる一方で、集中して細かいところまで掘りあげられる子も大勢います。

また、こばと学級として例年、共同制作にも取り組んでいます。今年は、「運動している自分」を等身大で版画にしています。大縄やボール遊びなどをしているところを型どり、動きのある作品に仕上げていきます。壮大なスケールになりそうで、今からできあがりにワクワクしています。

１年生

国語科「ものの名まえ」の学習で、物には一つ一つの名前と、まとめてつけた名前があることを学習しました。学習のまとめとして、班ごとにお店の名前や品物を考えて画用紙に描き、お店屋さんごっこをしました。算数科「大きいかず」の学習と関連付けて、欲しいものを買うのに 10 円玉は何個いるのかを考えて買うようにしました。子ども達は「いらっしゃい！」「安くしときますよ！」などと声を出し、活き活きとした表情で活動していました。

２年生

国語科の「おもちゃの作り方」では、説明文は見出しをつけたり、順序立てて書いたりするとわかりやすいということを学習しました。おもちゃランドで使うポスター作りにその学びを生かすことができました。

生活科の「おもちゃランド」では、友達と協力しておもちゃの作り方や遊び方をわかりやすく説明できました。１年生を楽しませようとする姿に成長を感じました。

３年生

３年生から学習が始まった理科では、実験を通して様々なことに気付くところから学習がスタートします。学習の中で生じた課題を、実験を行うことで主体的に解決できています。

「電気で明かりをつけよう」では、実験キットを活用し、電気が流れるためにはどうすればいいかを考えました。電気が流れるためには回路が必要で、金属には電気が流れる性質があることも、気付くことができました。今回の気づきを、次の単元の「じしゃくのふしぎ」でも生かしたいと考えています。

４年生

国語科「ウナギのなぞを追って」の学習では、自分で文章を要約してまとめる学習に取り組みました。自分が興味を持った事柄を中心に必要な文や言葉を書きだし、書きだしたものを繋げて要約した文を書くことができました。

社会科「わたしたちの県のようす」の学習では、八方位や等高線、縮尺などの地図のきまりを学んだり、地形から地域の特色について考えたりする学習に取り組みました。これから八幡市や京都府のようすを学習していく際に生かしていってほしいです。

５年生

算数では、何をもととして考え、何と比べた割合なのかを求める「割合」の単元を学習しています。～は、～の何倍という国語の主語、述語の関係を捉えながら問題を読み解く必要があるため、改めて国語力の大切さを感じます。

国語の学習ではそうした文の構成も理解した上で筆者や作者、登場人物の考えや思いをこれまで以上に読み取っていければと思います。

６年生

国語科「海の命」では、友だちの意見とのつながりを見つけながら、自分の意見を発表できるように取り組んでいます。自分たちのための学習として、子どもたちと一緒に学習計画を立てました。めざすは、物語を読み、子どもたちから出た疑問の答えを見つけるための学習です。そのために、主人公・太一の成長をたどる年表づくり、登場人物の関係を図にまとめる人物相関図づくりをし、それをもとに物語の大きな謎にせまります。物語の中に隠された文と文のつながりを見つけ、発見しながら読み深める楽しさを、ぜひ味わってほしいと思います。